

国立市コミュニティワゴン試行運行の中間評価について

■ 1 平成 27 年実績報告

国立市コミュニティワゴン試行運行2年目の状況（平成27年4月1日～平成28年3月31日 日曜日・年末年始運休）は表1～表4の通りである。バス路線がない地域を運行する青柳ルートの利用が他のルートに比較して利用が多いが、本運行への移行には及ばない状況である。

表1 国立市コミュニティワゴン試行運行 利用状況

ルート	200円 運賃	100円 運賃	50円 運賃	無償 (※1)	合計	一日当たり (※2)
青柳	3,209	8,823	232	271	12,535	40.3
泉	2,349	3,803	89	289	6,530	21.0
矢川・東	2,684	3,422	143	893	7,142	23.0
合計	8,242	16,048	464	1,453	26,207	

※1…無償は、未就学児とくにたちさくらカード利用者 ※2…本運行に移行する目安は各ルートあたり一日当たり70人

表2 国立市コミュニティワゴン試行運行 収支状況

H27年度	収入	経費	差引損益	収支率(%)	営業係数
青柳	1,364,350	10,018,650	-8,654,300	13.6	734
泉	787,450	10,760,603	-9,973,153	7.3	1,367
矢川・東	814,350	10,223,090	-9,408,740	8.0	1,255
合計	2,966,150	31,002,343	-28,036,193	9.6	1,045
H26年度	収入	経費	差引損益	収支率(%)	営業係数
青柳	1,276,800	11,072,518	-9,795,718	11.5	867
泉	711,700	10,615,052	-9,903,352	6.7	1,492
矢川・東	733,000	11,528,920	-10,795,920	6.4	1,573
合計	2,721,500	33,216,490	-30,494,990	8.2	1,221

本運行に移行する目安は収支率30%以上

表3 国立市コミュニティワゴン試行運行 平成27年度経費内訳 (単位:円)

人件費	22,559,462
燃料油脂費	2,660,108
車両リース料合計	3,744,000
自動車重量税	39,000
車両修繕費(点検)	492,000
自賠責・任意保険	708,660
その他経費(停留所設置など)	799,113
合計	31,002,343

■ 2 試行運行により明らかになったこと

- ・交通不便地域の解消には一定の効果があった。
- ・100円運賃の乗車数から高齢者の外出支援に一定の効果があった。
- ・バス路線がない青柳地域には矢川駅発着の需要が一定数あることが確認できたが、終日30分間隔での運行にしたものの誘発的な需要は少なかった。
- ・福祉会館への需要は極めて少なかった。矢川・東ルートと泉ルートを乗り継いで国立温泉に行く需要もほぼ無かったと考えられる。
- ・高齢者の市役所アクセスには一定の役割を果たしたと考えられるが、圧倒的に利用が多かったのは矢川駅停留所であった。
- ・総合医療センターへのアクセスについては、総合医療センター南停留所、あるいは多摩欄坂停留所から一定の距離を歩かねばならないので、お見舞いなどの利用にとどまったと考えられる。
- ・移動制約のある高齢者には自宅から乗車停留所まで出て行き、降車停留所から目的地まで歩かなくてはならない定時定路線サービス以外のシステムが必要であると思われる。
- ・試行運行ルート沿線の健常者は運賃に対する価値を見出せないものと思われる(徒歩あ

るいは自転車利用で済んでしまう。泉ルート、矢川・東ルートの運行地域にはもっと便利なバス路線が設定されている)。

- ・シルバーパスにより乗車ごとに運賃を払う必要がない高齢者には、乗車ごとに運賃を払う必要があるサービスには抵抗があるものと思われる（動けるうちは自転車で動く）。
- ・「元気な高齢者」が集う福社会館利用者は、自転車や、シルバーパスにより無料で乗車できる路線バスでアクセスできる。

■ 3 谷保ルートの評価方法（案）について

- ・10月から短期の試行運行が予定されている谷保ルート（三中コース、天神下コース）については、コースごとに隔日の運行であり一日の運行本数も4往復半であるため、現在の評価基準を設定する際の根拠とした片道3人（循環ルートは1便6人）の利用者数をもとに一日24人をひとつの目標とする。
- ・運行経費については、車両を共有する泉ルートの経費を走行距離で按分して年間換算で約150万円とし、これに対する収支率を計算することとする。
- ・また、運行終了後にアンケート形式による利用実態調査を行い、福祉的な交通を検討するための基礎資料とする。

■ 4 コミュニティワゴンに代わるサービス

- ・国立泉団地、国立操車場などのバス停付近に自転車置き場を設け、バス停まで自転車で出るという使い方ができるサイクルアンドバスライドの実施を検討（ハケ下在住の高齢者が坂道を自転車で走る必要がなくなる）。
- ・タクシーを呼んでもタクシーが来るまでに時間がかかってしまう地域では、市役所とタクシー会社の協定によるタクシー確保サービス等の検討。
- ・福祉的交通によるドア to ドアに近いサービス提供の検討。

表3 国立市コミュニティワゴン試行運行 利用者数比較（単位：人） ※試行運行は平成26年度から最長3年間

★一日70人を月間に換算すると1,750人（一カ月25日として計算）、年間に換算すると21,000人（同）

	青柳ルート						泉ルート					矢川・東ルート				
	H28年度		運行 日数	27年度	26年度	平均	H28年度		27年度	26年度	平均	H28年度		27年度	26年度	平均
4月	1,190	45.8	26	1,029	372	864	464	17.8	533	145	381	577	22.2	604	200	460
5月	1,210	46.5	26	979	795	995	473	18.2	471	422	455	561	21.6	437	358	452
6月	1,424	54.8	26	1,072	916	1,137	531	20.4	555	432	506	709	27.3	622	488	606
7月	1,340	51.5	26	1,140	991	1,157	508	19.5	663	578	583	683	26.3	709	593	662
8月				967	1,021	994			651	551	601			528	475	502
9月				1,027	1,044	1,036			583	601	592			687	645	666
10月				1,057	982	1,020			543	469	506			579	499	539
11月				999	869	934			563	430	497			624	484	554
12月				974	1,040	1,007			486	418	452			546	476	511
1月				818	869	844			415	457	436			550	570	560
2月				1,146	893	1,020			563	472	518			624	527	576
3月				1,327	892	1,110			504	457	481			632	552	592
平均				1,045	890	967			544	453	498			595	489	542
年間 合計				12,535	10,684				6,530	5,432				7,142	5,867	
前年 度比				1,851					1,098					1,275		

（注）平成26年4月は16日から月末までの数字、平成27年2月16日から青柳ルートダイヤ改正（午前中30分ヘッドで一日15便に）、平成27年9月7日から矢川・東ルート変更、平成28年2月1日から青柳ルート増便（一日15→22便、矢川駅発着終日30分ヘッド）、泉ルート夕方の富士見台休止、矢川発着1便増、最終便1h繰上げ、矢川・東ルート最終便の終点を㊤三小に変更